

平成18年度地域保健医療計画研修
～医療制度改革がもたらす地域保健への影響と保健所の対応～

目的： 医療制度改革等の新たな潮流の中で、健康課題の抽出・分析や目標・評価の導入、IT 技術の活用を含めた実効性のある事業展開のできる地域保健分野の人材を育成する。さらに、地域保健医療計画の策定に保健所として参画するために必要な「健康課題の抽出と優先度の判定」等について研修を行い、職員の資質向上に資する。

対象： 保健所において指導・管理的な立場（係長級等以上の職員）にあり、基本的なパソコンの操作ができるもの

日時： 平成19年1月25日（木）～26日（金）

場所： 財団法人日本環境整備教育センター 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL 03-3635-4883

	9:00	10:30	11:30	12:00		13:00	17:00	18:00	20:00
1 日 目		9:30 受付 10:00 開講式 オリエンテー ション 趣旨・説明	講義「最近の地域保健の動向 ～医療制度改革～」 (講師：厚生労働省担当官)	意見交換 (コーディネー ター：北海道室 蘭保健所長 荒田吉彦)	昼 食	講義・演習・グループワーク 「地域保健医療計画策定に役立つ保健情報処理の基礎と統計資料 の活用」 (コーディネーター：北海道室蘭保健所長 荒田吉彦・山口県宇 部健康福祉センター長 岡 紳爾) ◆「健康課題抽出・優先度判定」の取り組みについて理解する ◆計画策定に役立つ情報処理の基礎を演習する。 ◆講義によりどのような指標があり、どのように算出するのか を理解し、グループワークで演習する。 ◆各地域の統計データから課題を読み取る。		ナイトセッション 「情報収集と発信」 (話題提供：厚生労働 省担当官) (アドバイザー：株式 会社医療産業研究所長 梅本 哲) ※パソコンを使用し、 インターネットを活用 したディスカッショ ン。厚労省等のホーム ページにアクセスし情 報の入手・活用方法に ついて検討。	
2 日 目	グループワーク・ケースメソッド的検討 「医療制度改革の潮流の中での公衆衛生活動～より具体的な 課題検討～」 (コーディネーター：沖縄県立看護大学・大学院助教授 金 城芳秀、福岡県嘉穂保健福祉環境事務所健康対策課長 中原由 美) ※事前レポートの中から研修検討委員が予め作成したモデル課題、 および前日のグループ討議で抽出された具体的な課題について、徹底 した課題中心主義による検討を行います。 (課題例) ◆保健関係計画の作成に係る課題 ◆地域保健計画への到達目標・評価の導入 ◆医療費適正化計画に係る論点 ◆健康課題の抽出・優先順位付けの考え方 ◆地域における健康課題への資源配分の方針		講義「アス ベスト対策 について」 (講師：環 境省担当 官)	昼 食	全体討論・総評 「保健所は何かできて、何をすべきか」 (コーディネーター：沖縄県立看護大学・大学院助教授 金城芳秀、福岡県 嘉穂保健福祉環境事務所健康対策課長 中原由美) ※2日間にわたって行ったケースメソッド的検討手法を地域に持ち帰っていか に実践していくか。そのために必要なことは、今なすべきことは何か。全体討論で総括を 行います。 ◆2日間を振り返っての意見交換・全体討論 ◆アンケート記入・決意表明 ◆講師からの総評 ◆ITを活用した研修受講者フォローアップに関する説明			15:00 閉 講 式	

*当研修は平成18年度地域保健総合推進事業「ケースメソッドを活用した実践的研修とインターネット技術を駆使したフォローアップによる地域保健分野の人材育成事業」と連携して開催されます。

